

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本生化学会関東支部例会
演題名	発達期の小脳における自閉スペクトラム症関連分子SHANK3の発現解析
発表者	○ <u>田代真之</u> ※、 <u>内田美緒</u> ※、 <u>新行内聖也</u> ※、 <u>土師優里恵</u> ※、 <u>土屋美紀</u> ※、 <u>植田真史</u> ※、 <u>河内一平</u> ※、 <u>河原由香里</u> ※、 <u>和賀央子</u> 、 <u>内野茂夫</u> 神経生物学研究室（内野研究室）
内容	平成29年6月17日に、東京医科歯科大学において日本生化学会関東支部例会が開催され、大学院生が参加した。発表は、田代（大学院生M2）が昨年度の卒業研究（卒研生：内田美緒、新行内聖也、土師優里恵、土屋美紀、植田真史、河内一平、河原由香里）に新たな解析結果を加えポスターにて発表した。内容は、自閉スペクトラム症関連分子であるSHANK3について、遺伝子改変技術を用いて作出した発現可視化マウスを用いて小脳の発達過程におけるSHANK3の発現を解析したものである。本マウスは内野研で作製したオリジナルのマウスであり、その成果は世界で初めての結果である。
関連画像	